

5 月 定 例 教 育 委 員 会
会 議 録

1. 招集年月日 令和5年5月25日（木）
2. 招集の場所 織田幹雄スクエア
3. 開会（開議）令和5年5月25日（木）9時30分宣告
4. 出席者

教育長 佐々木 智彦 委員 林 孝 委員 米丸 禎宏
委員 大野 美恵子 委員 竹岡 美佳

5. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 森山 真文 学校教育課長 小村 孝広
主幹 立田 春美 主幹 高木 和希
生涯学習課長 森原 知美

6. 本日の議事日程

- 第1 会議録署名者の指名について 竹岡委員
- 第2 報告協議第14号 学校経営計画について
- 第3 議案第10号 令和5年6月定例議会補正予算案について
- 第4 報告協議第15号 令和5年度特別支援学級の状況について
- 第5 報告協議第16号 令和5年度通級指導教室の状況について
- 第6 報告協議第17号 年間スケジュールについて
- 第7 報告協議第18号 令和4年度小中学校卒業生の進路状況に

ついて

第8 報告協議第19号 生徒指導上の諸課題について

第9 報告協議第20号 各行事の開催及び結果等について

7. 議事の内容

9：30開始

○教育長（佐々木） それでは5月の教育委員会会議定例会を始めます。

本日の会議録の署名は竹岡委員にお願いいたします。なお本日の議題の日程は、お手元の配付の通りですが日程第3の議案第10号、第4の報告協議第15号、第5の報告協議第16号につきましては、非公開としたいと思います。非公開の理由ですが、議案第10号につきましては、検討中の予算案であること、報告協議第15号及び報告協議第16号につきましては、特別支援学級の状況、通級指導学級の状況ということで、個人情報を含む報告となるためでございます。議案第10号、報告協議第15号および16号を非公開とすることにご異議ございませんか。

（全委員より異議なしの声）

○教育長（佐々木） それでは異議なしと認めまして、議案第10号、報告協議第15号、第16号につきましては非公開とします。それでは議事に入ります。報告協議第14号、学校経営計画について議題とします。

○海田小学校長（西村） 令和5年度で2年目となりました海田小学校長

の西村でございます。よろしくお願いします。お手元の学校要覧と学校経営計画に基づき説明します。学校経営理念を心と心が響きあう学校、学校教育目標を「感性を磨く」と設定し、気付き、考え、行動する海小っ子の育成を掲げています。また今年度も、海田西中学校区3校で、探究的な学びを推進する研究を進めています。まず、確かな学力を築くことについてです。振り返りを活用して価値あるものに気づく子を育成するため、今年度もICTを活用しながら、総合的な学習の時間、生活科を重点として、振り返りを活かした授業づくり、授業改善を行っています。中でも条件に合わせて書く、声に出す活動の充実、読書活動を充実させていきたいと考えています。なかなか定着が難しい特性を持つ児童も一定数いますが、通級指導教室で学び方を学ぶことができるよう適切に運用していき、その考え方を広げて、ドリルタイム、放課後学習などの個別指導に生かしています。次に、豊かな心、考える子の育成についてです。対話と協働を通して考え、自分や人を大切にすることができる児童を育成するために、コミュニケーションツールとしての挨拶を大切にしています。日本一を目指した挨拶運動を行っています。朝の挨拶運動は担当学級が活動のめあてを話し合い、前日に校内放送で全校に伝えるという主体性を意識した取組も行っています。本校は、地域班ごとに集団登校したり、縦割り班掃除や遠足などの活動をしたりする、異学年交流を実施しています。その中で、児童の多くは高学年に憧れを持っています。さらに、委員

会活動を、高学年を中心として充実させて、お互いの良さを認め合う活動を多く取り入れていきます。また、不登校SSR推進校として、スペシャルサポートルーム「あおぞら」の導入と、保護者連携、関係機関連携により、長期欠席不登校児童の登校日数の増加や特別支援学級および通級指導教室への入級、所属学級への登校に向けて、それぞれの児童に応じた手立てを行っています。近年、特別支援学級、通級指導教室の入級者、希望者も増えておりますので、全教職員で特別支援教育の充実を行っていき、学級経営、授業経営に生かしていくよう考えております。次に、健やかな体、向上する子の育成についてです。体験活動を通して、心と体が健康な児童を育成するために、学級単位でロング昼休憩などを取り入れて、外遊びを推奨しています。外遊びの推奨期間を設け、体力アップ貯金カードを用い、体力づくりに取り組んでいきます。元気に学校に来ることのできる児童の育成としては、生活リズムカレンダーで、規則正しい生活習慣の確立に向け、家庭と連携した取り組みを実施していきます。最後に信頼される学校についてです。教職員は、臨時採用を含め、年齢、経験年数のバランスの良い配置にさせていただいております。ただ、担任層には経験年数の浅い者がいることから、メンター機能を発揮させ、主任層、特に学年主任としての役割意識を高め、さらに互いに支え合う、学びあう風土を育てていく必要があると考えています。海田町では、通級指導教室、スペシャルサポートルーム、特別支援学級を整えており、それらが軸と

なって、児童を多面的に見て支える、教員が互いに児童や取り組みについて話をする枠組みを作っています。それを確実に実施して、連携することで、組織的な動きとなり、今取り組んでいることや起こっていることについて、全教職員が認識しながら進めております。長期欠席や不登校が少しずつですが減少しております。対話マネジメントを行い、教師力を上げる取組を行いながら、今ある財を活かして、さらに組織を活性化させ、児童の力をつけていきたいと考えております。

よろしくお願いします

○教育長（佐々木）西村校長先生ありがとうございました。それでは、海田東小学校の齊藤校長をお願いします。

○海田東小学校校長（齊藤）はい。この度の異動で海田東小学校に参りました齊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。海田東小学校の印象なのですが、子供たちが子供らしいなという印象を持ちました。それから先生方が大変熱心だなというふうに思いました。自分の労力を惜しまず、学校のために、働いてくださっていると感じております。勤めて約2ヶ月が経ちますが、毎日わくわくしながら勤めさせていただいております。毎日小さなトラブルは当然ありますが、課題のない学校なんてありませんので、何も起きないのがよいのではなく、何かあったときにどういうふうに解決したかが大切だと思います。そのことが子供の成長や、教職員の成長にもつながると思っております。要覧の中ほどに学校経営計画があります。限られた時間ですので、

一番上にあります経営理念のところを中心にお話します。経営理念は、笑顔、挨拶、思いやりを大切にし、海田東小学校で学んでよかったと言える夢と志のある学校づくりです。下に、それぞれ目指す学校像、児童像、教職員像があります。下から説明をします。目指す教職員像ですが、四つ掲げています。目指す教職員像の中で一番大切だと思っていますのは、子供を愛し、大切にする教職員です。何より子供たちの気持ちに寄り添って、腰を低くして話を聞くということが大切だと思います。様々なスキル等ありますが、まずこのことが基本になります。学校の先生は基本的に子供が好きでこの仕事に就いていると私は思っています。子供にとっては最も信頼できる他者でもあります。今年には本校に初任者が4名おります。学校でしっかり若い職員を育てていきたいと思っています。二つ目、目指す児童像ですが、これは3項目あります。それぞれ知、徳、体の領域です。その中でも重きを置いておりますのは、思いやりを持ちということです。思いやりを持ち具体的にすると、挨拶だと考えております。挨拶はあなたのことを大切に思っていますというメッセージを送るものだと考えます。私自身毎朝挨拶運動しておりますが、毎週水曜日には児童会によるものも行っております。海田東小学校の子供がよく挨拶をすると、さらに挨拶が高まるように継続して取り組んでいきます。最後は学校像です。目指す学校像は、子供がより良くなることができる学校、毎日行きたいと思う楽しい学校です。そのためには何より授業が大切であるというふう

に思っております。5，6年生では教科担任制を行っております。専門性を生かした授業の充実，そして授業を中心にした教育活動の充実，子供だけではなく保護者が通わせてよかった。さらには教職員が勤めてよかったと思える学校を目指していきたいと思います。こうした学校をつくるために職員を束ね，保護者や地域の皆様のお力をお借りして，全ては子供たちのためにということを心に留めて，学校経営を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（佐々木）はい，ありがとうございました。それでは，海田西小学校吉岡校長お願いします。

○海田西小学校長（吉岡）皆さんこんにちは，海田西小学校長の吉岡でございます。今年度3年目となります。それでは海田西小学校の令和5年度学校経営計画について，資料は学校経営計画と学校要覧の2つで説明させていただきます。まず学校経営計画の方をご覧ください。海田西小学校の学校教育目標は，昨年度に引き続きまして，夢と志を持ち，よりよく生きようとする児童の育成でございます。この目標では，児童にとって発達段階に沿った将来になりたい仕事としての夢だけではなく，人に親切にできる人になりたいとか，人に役に立つ人になりたいなど，具体的でなくても，自分の将来を見越した，その時々夢を持てる児童を育成したいと考えております。また，自分のできることに満足することなく，常に成長しようと前向きに，より良く生きようとする児童を育成していきたいと考え設定をしております。目指

す子供像は、昨年度の自主自立を体現しようとする西っ子から、自主自立を体現しようとする素敵なお西っ子に変更いたしました。この自主自立を体現しようとするとは、子供たちが生活する現在の世の中では、解のない問いに対応しなくてはならない場面が非常に多くなっています。このような中、自分なりの考えを持ち、他に発表したり伝えたりできる児童、苦手なこと、やりたくないことでも、最後までやり抜く根気を持つ児童、掃除や片付けなど面倒なことをいとわない児童を育成することが大切であると考え、この目指す子供像としております。

また、今年加えました素敵なお西っ子と申しますのは、「すてきな」の4文字に願いを込めております。「す」は素直な子、「て」は手を挙げて積極的に発言する子、「き」は、気持ちの良い挨拶のできる子、「な」は何事にも全力で取り組む子です。この言葉は、各学級でも学年に応じて言葉を考え、1年間の目指す西っ子像として取り組んでまいりたいと考えております。目指す教職員像としましては、教職員全体がワンチームで子供に関わり切る。ICTなどに対応した新たな教育活動に対しても、チャレンジ精神を持って、常に学び続けることのできる学び合うプロ集団として、全職員で取り組んでまいりたいと考えております。研究主題は、本年度も確かな学力の定着、豊かな心の育成、健やかな体の育成に取り組むため、主体的な学びを深める児童の育成としまして、これからの学校教育推進において重要であるとされている探究的な学習を、本年度は県指定の3年目のまとめの年として、引

き続き取り組むこととしております。また、この取り組みでは、本校の特徴でもあります、新聞などを活用したN I Eの取組を踏まえながら、例えば総合的な学習の時間を、社会科の学習と連携させるなどして、海田町の特徴や産業に触れる内容を外部に発信できる学習にまとめていくことなどを考えております。さらに、本年度も昨年度に引き続き、本校の特徴を生かし、新聞や本などの文字に親しみ、文章から読み取る力と発信する力の育成に励んでまいります。最後に、学力向上の具体的な取組としまして、本年度は昨年度までの取組をさらに充実させていこうと考えております。学校要覧の日課表のところをご覧ください。まず、年間通して毎週水曜日にはN I Eタイムを行っております。また、木、金曜日の朝会前のドリルタイムで、国語や算数の基礎学習に取り組んでまいります。また、給食前に、学年ごとに繰り返しの学習が必要な児童に、給食前学習として、学力補充を行ってまいります。さらに、毎週月曜日の朝読書、月、火、木、金曜日の5校時の前には、昼読書として、読書活動を行ってまいります。今年度は学校司書との連携をさらに進め、学年ごとの課題図書を設定し、読書の習慣を低学年から着実に付け、高学年でも目標を持って読書活動ができるように進めてまいりたいと考えております。このように、教職員一同、子供たちのために精一杯頑張っております。教育委員の皆様にはいつでも海田西小学校にお越しいただき、ぜひ、先ほど言いました取組の授業の様子をご覧くださいいただければと思っております。お待ち

しております。私の説明は以上でございます。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。それでは、海田南小学校、石川校長先生、お願いします。

○海田南小学校長（石川）今年度、海田東小学校から海田南小学校校長に着任しました石川でございます。どうぞよろしく申し上げます。お手元の学校経営計画をご覧ください。２段目、学校教育目標は、考え実践する海田南っ子です。本校は目指す児童として、MKM、学ぶ子、気遣う子、認め合う子をスローガンとして、知徳体のバランスのとれた児童の育成、とりわけ相手と折り合いをつけるということを目指に、児童を育てていっております。次に、確かな学力、健やかな体、充実した心、信頼される学校という四つの目標がありますので、そこをご覧ください。確かな学力の授業づくりにおいては、実態の把握を大事にしています。研修を生かして日々の授業を充実させるという目標を持っております。健やかな体ですけれども、今年、健康三原則、よく動き、よく食べ、よく眠るというのを掲げています。家庭との連携が不可欠であり、健康カードというのを作っておりますが、有効な制度であるか模索をしている段階です。充実した心、生徒指導面では、先ほどの気遣う、認め合うを大切にして、自他を認め合う活動によって、児童の自己肯定感を高めていきたいと考えております。そのためにも、児童を多面的に理解するために、教科担任制であるとか、組織的な生徒指導を取り入れて、いろいろな関わりを増やしていこうと考

えています。信頼される学校では、何と言っても、教職員の姿が大事になってまいります。目指す教職員の方では、3つほど挙げておりますが、とりわけ子供を愛することと、笑顔と挨拶を大事にしていこうと考えております。児童理解とともに教職員には保護者理解が不可欠と考えております。教職員が相互に良好なコミュニケーションをとって、気持ちよく働くことができるようにということを求めています。今後ともご指導ご鞭撻をよろしくお願いします。

○教育長（佐々木）ありがとうございます。それでは、海田中学校の河北校長先生お願いします。

○海田中学校長（河北）海田中学校校長の河北と申します。どうぞよろしくお願いいたします。3年間振り返ってみます。まず、生徒についてですが、本当にエネルギーにあふれていまして、明るく人懐こい素晴らしい力を持っている生徒たちです。一方で、思春期の真っ只中ですので、発達段階の途中の中で自分の行動をコントロールできないこともあります。特に人間関係を固定化してしまっていて、新しい関係を作るってということがどうしても思春期の子供たち苦手なところがあります。綿密な情報連携またチームによる対応ということで行ってまいりました。特に、本校のポイントになっているところが、5点あります。一点目は先生方が常に生徒とともにあるということです。本当に休憩時間、授業、掃除いろいろな活動の中にもともに活動している姿があります。二点目は生徒の思いに寄り添うということです。力づくで、あ

るいは逃げ道をなくして生徒に従わせるのではなく、生徒自らが考え判断し行動を変えていけるように指導支援を心がけているということです。三点目は生徒が活躍する場を設定するということで、学校行事、授業また各種大会やコンクールなど全てのクラブ活動の中で生徒が活躍できる場を設定していくってことを行っております。四点目は、毎朝職朝で生徒指導の情報を交換しております。中学校ですので、他学年にわたって一つのクラスに関わっていきます。学年で留まることなく、様々な教員が情報共有するということです。最後は生徒からの言葉ですが、先生方の仲が良いということで、やはり先生方が仲良く仕事をしている姿を見て生徒は安心を感じているところであります。解消していきたい点としては、やはり自己肯定感を高めていきたいということです。学校経営計画ですが、今年度の学校教育目標を少しだけ変えました。昨年度まで考え実践する生徒の育成ということで、生徒の育成という言葉を書いていたのですが、やはり主体を生徒に考えたいということで、考え実践するということにしました。自立、尊重、挑戦はこれまでもずっと言い続けてきました。先日、卒業生が来校した時に、「事実、尊重、挑戦を覚えています。」と話してくれて大変嬉しく思いました。その言葉が、彼たちの中にも育ってきたのかなというふうに思っております。今年度もう一つ追加したのは、つけたい資質能力というところで、新たなキーワードとして気づく、磨く、表すという3点を持ってきました。これは考え実践するということを教育

目標に挙げていますが、生徒が何を考えるのかということにまず気づかなければ、スタートしないので、まず気づくということです。磨くは、お互いに磨き合うという場面を表していくことが、行動化に繋がるということで、気づく、磨く、表すこの3点を、全ての教育活動の中で意識して行っていくように、今年度スタートしたところです。最後に、大切にしている5つのことですが、いじりやからかい、じゃれ合いを見逃さず、その場で指導し情報を共有するという言葉を今回新たに付け加えました。今年度、道徳教育推進拠点地域事業の2年目ということで、10月6日に公開研究会を実施する予定です。現在それに向けて取り組みを進めているところでございます。ぜひ、お時間があれば、来校していただいて、研究の成果を見ていただきたいと思います。以上でございます。

○教育長（佐々木）ありがとうございます。それでは、海田西中学校の松本校長先生お願いします。

○海田西中学校長（松本）海田西中学校校長の松本と申します。今年度2年目となります。どうぞよろしくお願いいたします。学校経営計画をご覧ください。学校教育目標ですが、昨年度と同様で変更しておりません。キーワード的に示させていただいています。こちらはいつでも先生方が発する言葉です。丁寧にしなさい、何々を続けよう、きちんと続けましょうと、覚えやすいということを意識しております。そこで今年のキーワードですが、去年とは変更しました。去年は、体感

実感という言葉でしたが、今年は凡事徹底といたしました。これも結局、丁寧さ続けることに繋がるわけなのですが、当たり前のことを当たり前やり通すことです。やり通すことがそれこそ非凡なことになるということです。やはり、本物になるためには当たり前のことをいかに続けていくかというのがすごく大事だと私は思っています。このことについて最初の始業式で、子供たちにも伝え、先生方にも同じようにメッセージを伝えました。あわせて、ここで子供たちにもう一つ加えて伝えたことがあります。日中の子供たちはとても真面目です。伝えたことは確実に行うという、とても素敵なお姿があるのですが、もう一つ力をつけたらいいなと思うことが、「自分で考えて自分でやってみる。」というように、与えられたものじゃなくて、自分でどうにかしてみようという主体性がもう少し欲しいとこの一年間で感じました。子供たちには、簡単な言葉で、「見逃し三振よりも空振り三振。」初めから、難しいからと逃げるのではなく、まずはやってみよう。後ろ向きな子供たちが結構多いのですが、まずやってみて、そこから考えてみましょうという話をしました。先生方にもそのような子供たちを支えるためには、3段階の声かけがありますと話をしました。最初は子供たちが悩んでいたら「どうしたの？」と声をかけましょう。その次に子供の考えを聞くために「どうしたいの？」と聞いてください。そして、最後に「何か先生の助けが必要ですか？」とそのような形で聞いてくださいとお願いしております。そうすることで、自分たちが

考えたことをとにかくやってみて、自分たちの力が及ばないところは先生がフォローしますというスタンスが取れるようになるといいなと思い、このような話をさせていただきました。確かな学力、豊かな心、健やかな体については凡事徹底、昨年度やってきたことをきちんとやり通すということをしていきたいと思います。特に「書く」活動については、ヤングスポットという応募作品を確実に取り組んでまいります。今年の主な取り組みとしては、中学校にライフという連絡帳みたいなものがあり、そこに毎日日記を書くという取り組みを進めています。目標として、一段階目は丁寧に、二段階目は長く、三段階目は詳しくというように子供のレベルに応じてここを先生方は求めなければ、やはり子供たちは伸びていきません。指導の視点としては、ここさえ押さえていけば、子供たちは確実に力を付けていくので続けていきましょうという話をしました。このような本当に何気ないところを大事に、この一年間進めていきたいと思います。左肩一点止めの資料につきましては、先生方に4月当初配布した資料となります。今、申し上げたことについて少し詳しく書いてありますので、またご覧いただけたらと思います。小学校の教員で東京教育技術研究所向山陽一さんが提唱された授業の原則10箇条、好き嫌いではなく、やってみると、意外に確かにそうなのだ。例えば、空白の禁止の原則というものがあるのですが、一人の子どもでも「今何する時間？」という状態を作らせないために先生はどんな手立てをしますか。というような形で、意外

と当たっているところがあります。先生方の授業を見直していただく上でも、このような視点で自分の授業を聞いてみると、自分の改善に繋がりますというような話をしました。一年間、今申し上げたように本当に何気ないことですが、着実に進めていけたらなと思っています。またご指導のほど、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。皆さん限られた時間の中で、よくまとめていただきましてありがとうございました。それではここから委員の方々に意見、感想を述べてもらいたいと思います。なお、全体に共通することでもいいですし、個別のことでも結構ですのでよろしくお願いします。それでは大野先生から、お願いします。

○委員（大野）どうもありがとうございました。各小学校、中学校の校長先生方のお話を聞いて、今感動で心が揺れております。校長先生方が直に児童生徒そして教職員の先生方を目の前にして感じられていることが、この経営の中に入っていて本当に素晴らしいなと思います。どうか、一年間よろしくお願いします。保護者や地域の方と接する機会があり、どの地域でも保護者の方は自分の話をしっかり聞いてくれることで、学校に相談してよかったとそう思ってもらえる言葉が返ったときに、大変嬉しく思います。それから、学びの広場で出会う児童が苦手なことを克服した時、学校の先生が教えてくれたと自信に満ちた笑顔で報告してくれたことがありました。そういうときには、やはり先生方の力というものを、すごく感じて嬉しいと思っています。最

後に一つお願いしたいことがあります。やはり今も学校経営のためにたくさんありましたが、先生方の人材育成を本当にお願いしたいと思います。地域や子供たちの声を聞いていると、先生の一言、あるいは校長先生方の一言によって、何か不信感に陥ったり、信頼を得たりすることがあるので、本当によろしくお願いしたいと思います。ニュース等で不安に思われることはあると思います。人材育成の中で大事にしたいことが三つあります。先ほども出てきましたが、失敗してもいい。でも、そこから学んで欲しいという言葉がありました。本当にその通りだと思います。人から学ぶ、主任の先生から学ぶ、いろいろな形がありますが、やはり学び続ける姿が大切だと感じる人材、学び続けることの大切さを感じる人材を育てていただきたいです。二つ目に、感性です。顔を見て、目を見て、今この子がどのような思いを持っているのか、その感性を磨く姿というのも大切にしていきたいです。それから、昨年小学校に時々見学に行っており、ずっと教室にいました。そうすると、休憩時間、給食前の少しの時間に子供たちが寄ってきて、悩みや嬉しいことなどを語りかけて来ます。その言葉を聞いて、子供と一緒にいる場を増やすということは、一日中朝から放課後まで教室にいたときに、子供たちが語りかけてくる場を作ることがとても大切でいいことだと分かりました。最後に、私が勤めていたある中学校の校長先生が教職員に小学校でこれだけ学力もつけてくれて、生徒指導もしてくれて、その積み重ねたものがあつた中で、

中学校でのプラスの三年間の学びを積み重ねていくのだから、きちんと小学校で身に付けたものを、私たちはプロの集団として仕事をしていかなければならないと伝えていきたいですと仰っていました。小学校の教員としてこれは中学校、義務教育に続けるその9年間の終わりにまでに繋がるのだと思うと小学校の責任も感じ、それを受けてもらえる中学校にもとても感動しました。よく小中連携といいますが、やはりその繋がりがあると思います。大変だと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。今日、ここでいろいろな意見をいただいたことを必ず職員に伝えてください。それでは、竹岡委員お願いします。

○委員（竹岡）今日はいろいろな学校の話が聞けて、各学校とも校長先生を始め子供たちのために一生懸命取り組んで下さっていると強く感じました。校長先生方のキーワードで挨拶、折り合いをつける、主体性等が印象に残りました。主体的、主体性、自らということをやほりどの学校においても子供たちのそのような力を伸ばそうとされているというのをすごく感じましたが、どのようにしていけば伸びるのだろうかと思いながら聞いていました。最後に西中の校長先生がおっしゃられたように「見逃し三振よりも空振り三振。」どうしたら空振り三振ができるのかというと、失敗ができる場、失敗を歓迎する場がとても大事だと思いました。それは子供たちだけでなく、やはり先生方が

チャレンジして失敗する姿をたくさん子供たちに見せていただければと思います。保護者が先生たちのチャレンジと失敗を歓迎していかななくては、先生たちもチャレンジしにくいので、そうすると子供たちもチャレンジしにくいだろうと思いました。それから、先生たちをお願いしたいことが、失敗を歓迎するけれども、失敗の最初にはチャレンジがあるので、小さな失敗やチャレンジしている姿を見逃さず、チャレンジを歓迎するような雰囲気があればいいなと思いました。おそらく実践されていると思いますが、校長先生方のお話を伺いながら、感じたことを述べさせていただきました。以上でございます。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。それでは、米丸委員お願いします。

○委員（米丸） どうもありがとうございます。どの学校も思いは強く伝わりました。今年はコロナが変化してきています。活動していく中で、保護者の方も学校へ行く場面が増えてきます。この三年間、何も活動なく過ごしてきたので、新任の先生は初めてでしょうが、やはり三年目までの先生も、過去にそのような経験がないので、保護者対応も大変でしょうが、気をつけていただきたいと思います。私も仕事上、保護者の方と話しをする際にPTAや学校に関わった方がいいですよとお伝えしています。自分も関わってきた中で、自分から関わることで学校のことも分かるし、先生の思いも学校の思いも伝わってくるので、保護者の方も学校のことが分かれば無理なことは言わなくなるので、

保護者を味方につけていくことです。ただ、子供が一番ですけれども、やはり先生が元気で楽しく学校に来なければ、子供たちはすぐ感じ取りますので、そのようなことを含めて、対応していただければと思います。よろしくお願いします。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。それでは、林委員お願いします。

○委員（林）ありがとうございました。学校経営計画で夢を語っていただきました。地に足についた形で、次どのような手を打ち、浸透させていくのか、そのためにはどのような手立てを打つのかを聞かせていただいたと思います。それをどのように見取っていくのかというところまではまだ聞いていません。西小の場合は、学校要覧の中へ学校評価指標が記載されていました。欄が小さいので、記載しにくいとは思いますが、やはりどのようにしたらできるのかということは大事にしたいです。その他、学校評価という中で、自己評価であり監理者評価でありますので、地に足がついた形で行っていただきたいです。学校評価についてはもうかなり慣れてきていると思いますが、毎年毎年、新鮮な気持ちでやり直していかなければ、次に繋がっていきません。その際に、心地良い言葉が流れますよね。挨拶の日本一が二校ありましたが、自己評価だけではなく、具体的に日本一だと分かるような形で、伝えていただきたいです。抽象的なことになりますが、例えば海小の心が響き合うとはどのようなイメージを先生方に伝えて

いるのか。先生方はそれを保護者にどう伝えるのだろうか。それは子供との関わりにおいて、どう伝えていくのだろうかと時々振り返ることが大事になります。私はこのような思いで響き合うことを実践しましたと確かめ合えればと思いました。失敗できることは大事になります。「見逃し三振よりも空振り三振。」まさにその通りですね。先生方に補足してもらいたいことがあります。江田島で学んだことで、命をなくさないこと、踏みにじってはいけないことです。それさえなければ、どんなチャレンジでもしていい。踏みにじるとは自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも教えられる、ただそこで臆病になるのではなくて、本当に相手の気持ちを傷つけないのかということを考えられるようになってもらいたいと思います。自分の命、人の命を失くしてはなりません。中国電力に勤務されていたインストラクターの中島先生から学んだことです。そのくらいの大きな気持ちでどんと構えることが大事です。そのためには、細かな配慮が必要になりますがよろしくお願いします。以上でございます。

○教育長（佐々木）ありがとうございました。それでは、最後に私の方からです。学校からの説明で、少し変更しましたとの発言が多かったのは、去年までの営みを振り返り、反省を踏まえて変更されたと思います。少しのことですが、この少しの変更が大事で、大きな成果が得られると思いますので、よろしくお願いします。3月まで大過なく過ごせるといいのですが、そのために気を付けてもらいたいことが一つ

あります。先ほども教職員と生徒との関係ありましたが、やはり温かい学校であってほしいと思います。具体的にはいじめ対策の一つとして、いじめを認知するというのをこの数年間やってきました。しかし、やはり根本はいじめをしないことではないかと思います。そこへ食い込んでいただきたいと思います。本当に何が必要なのかということを見ると、温かさだと思います。なぜ温かくなれないかというと、我々も反省しなければいませんが、評価指標が子供の行動を変えたことになりがちになります。行動を変えるとは大事なことです、子供たちの内面が変わることがもっと大事になります。最後に現代的な校長先生のマネジメントで外してもらいたくないことがあります。当たり前のことですが、ドリルや試験、プリントをするにしても一時間一時間の授業をどう大事にしてマネジメントをする教員であるかどうかきちんと工夫した授業をするようにしてもらうところに気をつけていただきたいと思います。二点目は、通級指導や就学指導を含めた特別支援を大事にしていきたいと思います。三点目は、図書館教育を充実させていくことです。しっかり読書活動をしていただければと思います。いずれにしても、それぞれが特徴ある切り口で学校経営を話していただきましたが、今年はいまうまいきそうな期待感が感じられます。委員の意見を踏まえて、しっかりよろしくお願いします。以上でございます。校長先生方ありがとうございました。

○教育長（佐々木） 報告協議第17号年間スケジュールについてを議題と

します。事務局の説明をお願いします。

○学校教育課長（小村）報告協議第 17 号年間スケジュールについてご説明いたします。まず学校教育課でございます。資料の 9 ページをご覧ください。研修各行事等がありますが、本日は主なものについてのみ申し上げたいと思います。8 月 4 日金曜日「海田町授業力向上研修」についてですが、毎年夏休みに全職員を対象に行う研修でございます。今年度は生徒指導に関わることについて、広島県教育委員会から講師を招いて行う予定でございます。8 月の下段をご覧ください。二学期の始業式について中学校は 28 日月曜日、小学校は 31 日木曜日を予定しています。資料 10 ページをご覧ください。10 月 6 日金曜日、今年度海田中学校区につきましては、「海田中学校公開研究会」20 日金曜日、海田西中学校区につきましては、「海田小学校が公開研究会」になります。11 月 17 日金曜日から 23 日木曜日まで「海田町学校意識調査」を行います。今年度もタブレットを活用して、デジタルで行う予定です。続きまして、令和 6 年 1 月 25 日木曜日「海田町こども議会」を予定しております。例年夏休み中の予定でございますが、新庁舎での新しい議場で行うということもあり、この日を設定いたしました。この日は午後を予定しておりまして、ライブ配信も含めて行う計画でございます。3 月の卒業式の予定としては、小学校が 19 日火曜日、中学校がまだ記載されていませんが、これは受験との兼ね合いもございますので、現在調整中です。また決まり次第ご報告させていただきます。

す。学校教育課につきましては以上でございます。

○教育長（佐々木） それでは生涯学習課お願いします。

○生涯学習課長（森原） 資料 11 ページをご覧ください。「旧千葉家住宅の一般公開」につきましては、年間を通じて毎月第2第4の金曜日から月曜日まで公開しております。次に13ページをご覧ください。11月24日から12月3日まで「旧千葉家住宅の特別公開」を予定しております。続きまして、11月16日木曜日「エクシモン弦楽四重奏団演奏会」を今年度も実施いたします。資料14ページをご覧ください。1月7日日曜日「二十歳のつどい」、25日木曜日から27日土曜日「おんかつアクティビティ・コンサート」今年度も音楽活性化事業として予定しております。

○教育長（佐々木） 今年の音楽活性化事業は海田西中学校と企業と国際学院ですかね。

○教育次長（森山） 今年は海田中学校と国際学院と企業です。

○教育長（佐々木） 福祉施設はどうでしょうか。

○教育次長（森山） 今年はありませんでした。

○教育長（佐々木） 今年2年目を迎えます。ありがとうございました。

皆さんの方から御質問等ございますか。ご予約の程よろしく願います。何か不都合ありましたら遠慮なくおっしゃってください。よろしく願います。それでは次にまいります。報告協議第18号令和4年度小中学校卒業生の進路状況についてを議題とします。事務局の説

明をお願いします。

○学校教育課主幹（立田） 報告協議第 18 号令和 4 年度小中学校卒業生の進路状況についてご報告いたします。資料 16 ページをご覧ください。小学校から説明させていただきます。海田町内中学校への進学者合計 227 名、海田町以外の公立中学校への進学者 14 名、国立・県立・私立中学校への進学者 28 名でございます。学校ごとの内訳は資料の通りでございます。次に中学校の状況を説明させていただきます。高等学校への進学者 225 名、高等専門学校への進学者がおります。特別支援学校への進学者、就職者、進路未決定者がおります。詳細は資料 17 ページの通りでございます。授業料の補助が受けやすくなったこと、自分のやりたいことや学びたいことを目指して私立高等学校への進学も近年増えてきている状況でございます。以上でございます。

○教育長（佐々木） 皆さんの方からご質問等ございますか。中学校進学は例年よりも多少少なく、高等学校進学は例年並みだと思います。

○委員（米丸） 今年は通信制が少なかったのですか。

○学校教育課主幹（立田） はい。去年に比べて今年は少なかったです。

○教育長（佐々木） それでは次にまいります。報告協議第 19 号生徒指導上の諸課題についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

○学校教育課主幹（立田） 報告協議第 19 号生徒指導上の諸課題についてご説明いたします。資料 19 ページをご覧ください。暴力行為については小学校 6 件、中学校 1 件です。いじめについては、小学校 1 件、中

学校は0件です。不登校については、小中学校ともに0件となっております。暴力行為5件について説明させていただきます。この中には、衝動性のある同一の児童が起こした事案が2件、それから授業中に起こった事案があります。いずれも特別の指導、保護者連携をして謝罪をし、解決はしておりますが、授業中に起こった事案につきましては、児童に指導するだけではなくて、授業計画に粗さがあったり、狙いを明確にしていなかったりなど、教師が児童を授業に集中させきれていないという実態も伺えます。先ほど申し上げましたように、児童を指導するだけではなく授業のあり方自体を考えていかないといけないということ考えております。なお机上に前回4月の教育委員会会議でご指摘をいただきました令和3年度の件数について、修正したものを置かせていただいております。よろしくお願いいたします。以上でございます。

○教育長（佐々木） 暴力行為の5件はほとんど低学年ですか。

○学校教育課主幹（立田） はい。3年生以下です。

○教育長（佐々木） 分かりました。皆さんの方からご質問等ございますか。学校は大小構わず外形的な行為というのは、暴力行為としてとらえて指導する必要がありますので件数に上げています。

○委員（大野） 小学校中学校共に不登校が4月で0件というのは、とても大切なことだと思います。やはり先生方の尽力もありますし、幼保小の連携もうまく行えていることだと思います。何か理由があります

でしょうか。

○学校教育課主幹（立田）不登校については昨年も一昨年と比べると、減少しています。各学校の方にSSRや適応指導教室、それから町内適応指導教室に通ってくる生徒児童が申し込みだけで通わないのではなく、その中で自分が何をやるのかを自己選択をさせているという声をよく聞きます。学校に通い自分の居場所がある。それから自分がやることがある。これらのことで不登校が本当に少しずつですが減少している状況にあると考えております。

○教育長（佐々木）バランスよくアプローチしていくこと、諦めないことですよね。ただ、やり過ぎもプレッシャーになりますので、よく考えて進めていかなければなりませんね。他にございますか。

○委員（林）実感として通ってきているということでしょうか。

○学校教育課主幹（立田）そうですね。昨年度と比べて来るようになったという声を聞きますので、通いやすさもあると思います。

○教育長（佐々木）高木さんその点どうですか。

○学校教育課主幹（高木）はい。昨年まで放課後登校していた子どもが登校している状況です。

○教育長（佐々木）それは前々回に林委員から、4月の変わり目はチャンスだと言われた通りですか。

○学校教育課主幹（高木）その点は学校も意識されていて、引き継ぎや、新学期を迎えるにあたっての子供に対する個別の支援等をしっかりさ

れていた成果だと思えます。

○教育長（佐々木） 継続して頑張っていきたいと思えます。それでは次にまいります。報告協議第20号各行事の開催及び結果についてお願いします。事務局から説明をお願いします。

○教育次長（森山） 報告協議第20号各行事の開催及び結果についてご説明いたします。学校教育課からよろしくお願いします。

○学校教育課長（小村） 資料の22ページをご覧ください。まず5月ですが、今週末27日土曜日に小学校の運動会、また一週間後の6月3日土曜日に中学校体育祭の予定です。6月につきましては、15日水曜日に教育委員会会議の定例会を9時半から海田東公民館で予定をしております。16日木曜日に第1回教育長のミーティングを海田南小学校で予定をしております。以上でございます。

○教育長（佐々木） では生涯学習課をお願いします。

○生涯学習課長（森原） 資料の23ページをご覧ください。5月につきましては、17日水曜日に青少年育成海田町民会議総会を開催しました。続きまして、24日水曜日に第1回社会教育委員会会議を開催しました。6月につきましては、24日土曜日から25日日曜日まで中国地区スポーツ推進委員研修会を下松市で開催されますので、参加します。以上でございます。

○教育長（佐々木） はい。よろしいでしょうか。議事は全て終了となりますが、委員の皆様から何かありますか。

(全委員からなしの声)

○教育長（佐々木） それでは、これで教育委員会会議を終了します。

1 1 : 4 5 終了